

福祉教育（福祉学習）のすすめ

私たちの地域で誰もが幸せに暮らしていくためには何をしたらいいか、課題に気付き、解決していくためにはどのようにすればいいのか、そのことを様々な人と共に考え、実際に行動するための力を育むことが福祉教育です。

社会福祉協議会（以下、社協）は、地域福祉を進めていく団体です。地域福祉の推進に福祉教育は不可欠であり、学校を含めた地域のさまざまな場面で進められている福祉教育を推進・支援しています。社協は、地域のさまざまな人材や社会資源とのつながりを持っており、地域のつなぎ役を担うことができます。

上山市社協では、市内各学校の生徒等を対象に、思いやりの気持ちを育み他者への理解を深めることを目的として、「福祉学習」を実施しています。生徒自身が興味や関心を持って取り組み、考え、気づく力を身につけ、地域や社会とのつながりをもてるような福祉学習を推進していきたいと考えております。

【共に生きる力をはぐくむ～福祉学習～】

教育と福祉は、入り口や素材は異なっても「人間の尊厳」「相手の立場になって考える心」や「共に生きる力」をはぐくむという基本理念で共通しています。障がいのある人や高齢者だけでなく、様々な世代や立場にある人と関わることで、子どもたち一人ひとりが「共に生きる力」をはぐくむことにつながります。

福祉(ふくし)とは、「**ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ」を実現させること 

福祉学習の基本コンセプト

「共に生きる力」

子どもたち一人ひとりが、自分自身が価値ある存在であること（自尊感情）や命を大切にすることを学び、「共に生きる力」を育みます。

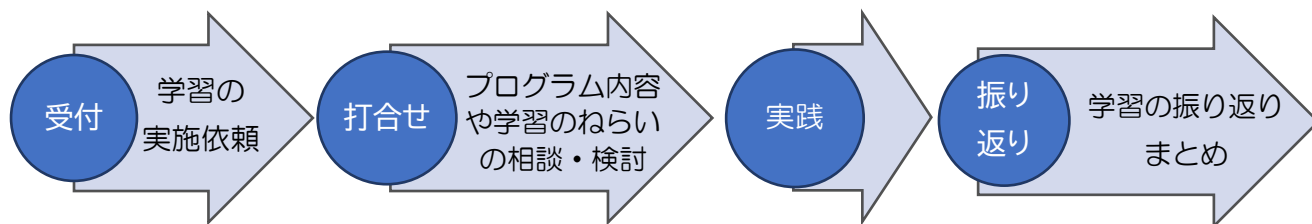
体験的な学習を大切に

子どもたちが自発的に考え、自分なりの気づき・理解に到達するための体験的な学習を大切にします。

地域の一員としての意識を育てる

地域の様々な人たちとの出会いを通じて、共に暮らす地域の一員としての意識を育てます。

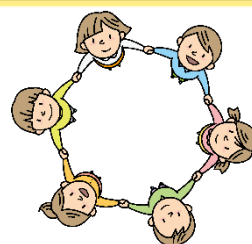
【学習の流れ】



【社協が対応出来ること(例)】

- ★福祉学習プログラムの企画や実施
- ★福祉教育に関わる地域でのネットワークづくり
- ★関係機関との連絡調整
- ★広報活動
- ★社会資源の情報提供・紹介（福祉施設・地域活動 等）

困った時は社協にご相談ください！



裏面へ⇒

先生の“思い”をかたちにするお手伝いをします ～福祉学習プログラムのご紹介～

下記のプログラム内容は一例ですが、各学年の学習進捗やカリキュラム等に応じたプログラムで行うことができますので、お気軽にご相談ください！



◆車いす体験

車いすの操作方法や介助方法、声のかけ方を学ぶ

◆高齢者疑似体験



高齢者疑似体験（シニアポーズ）セットを使用し、高齢者への声のかけ方や関わり方を学ぶ

◆福祉についてのカードゲーム



←防災

防災や地域での助け合いについて、ゲームを通して学ぶ

↑助け合い体験

◆ユニバーサルスポーツ体験



←モルック

性別や年齢の違い、障がいの有無に関わらず、みんなが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツを行う



↑ボッチャ

◆地域交流

ユニバーサルスポーツ等の福祉体験を通して地域の方との交流も！



◆アイマスク・白杖体験



視覚障がいに関する理解を深め、声のかけ方や補助の方法などを学ぶ

◆福祉についての講話



福祉の仕事、認知症・高齢者、障がい者等に関する講話を聴き、理解を深める

- ★総合的な学習の時間や道徳・家庭科の授業、学校行事等、様々な場面に合わせてご活用ください。
- ★上記プログラムで使用する物品は、無料で貸出可能です！

上山市社会福祉協議会
電話：023-695-5095
FAX：023-695-5096